

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 21 日 更新

事務事業名		小中学校施設維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞
	施 策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	36	義務教育施設の整備			所属班	学務指導班	(内線)	5327
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10727 他	根拠法令	なし	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を提供する。
【業務の流れ】	施設修繕（施設の不具合箇所の発見→対応方法の検討→修繕業者選定→修繕業務委託→修繕箇所の検査→事業費の支払い） 環境維持（各施設の清掃、除草作業、定期点検）
【主な予算費目】	需用費（施設修繕費）、役務費、委託料
【意見や要望】	校舎建築後、年数が経過すればするほど、施設の不具合の発生率は高まるため、施設修繕の要望は増加傾向にある。特にエアコンや給食設備の不具合は緊急性が高く費用も高額になりがちである。近年では落雷による被害も増加している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 小中学校施設を適正に維持管理(校舎・体育館等の軽微な修繕(50万円以下)、除草作業、清掃他)することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を提供した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 小中学校施設を適正に維持管理(校舎・体育館等の軽微な修繕(50万円以下)、除草作業、清掃他)することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を提供する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 小学校における施設修繕件数	件	修繕必要箇所の増に伴う需用費(施設修繕費)の増
→ イ: 中学校における施設修繕件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校	校	→ ア: 小学校
	校	→ イ: 中学校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持し、児童生徒に支障なく教育を受けてもらう。	%	→ ア: 適正に維持管理された小学校施設の割合
	%	→ イ: 適正に維持管理された中学校施設の割合
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
効率的で安全な教育環境を提供するために、施設を維持管理し良好な状態に保つことが必要である。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			1		1	1	1
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	18,245	23,545	29,787	27,818	33,181	35,000	35,000
		(A) 事業費計	千円	18,245	23,545	29,788	27,818	33,182	35,001	35,001
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	3
	人 件 費	延べ業務時間	時間	200	50	150	125	150	150	150
		(B) 人件費計	千円	782	190	597	455	597	597	597
		トータルコスト(A)+(B)	千円	19,027	23,735	30,385	28,273	33,779	35,598	35,598

事務事業名	小中学校施設維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 計画的かつ緊急性に応じて必要最小限の施設維持管理を行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 学校施設の維持管理の事業であり、教育環境を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 修繕等が必要な箇所は、対応しなければ円滑な学校運営に支障が出るもののため、事業費の削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 学校施設の維持管理であり、一部の受益者にかたよるものではない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 合志市立小中学校の施設維持の費用であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

小中学校施設の適切な維持管理を行い、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。
緊急性、必要性に応じた計画的な施設整備を行う必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 現状維持		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								